

「少林寺拳法北海道大会」で 最優秀賞、おめでとう!

7月11日、真駒内セキスイアリーナで行われた「少林寺拳法北海道大会」の規定単独演舞小学生有段の部で、柏小6年の脊戸秀輔くんがみごと最優秀賞を獲得しました。



6才から少林寺拳法を始め、猛練習のすえに勝ち取った最優秀賞です。
Q 賞を取った時の気持ちを教えてください?
A 3回北海道大会に出て、3回目で最優秀賞を取れてすごくうれしかったです。大会の前までは(少林寺を)やめるとかやめないとか、いろいろありました。でも賞を取って、「やめなくてよかったな」と思いました。
Q なぜ少林寺をしてみようと思ったの?
A ぼくは少林寺を習う

前、とても弱い人間でした。練習を見学して、「これならできる」と思っただけで、自分を守り分を守るためにも大切だと思っただけで練習しました。
Q 続けてきて楽しいこと、辛いと思ったことは?
A 技を習って、その技をともに使って相手と試合するのが楽しいです。辛いなあと思っただけ、黒帯の試験の時です。初段試験は実技と勉強があります。その勉強がすごくて良かったです。でも100点中90点以上はとれたので良かったです。
Q 少林寺の魅力を教えてください。
A 防具をつけて、いろんな仲間たちと戦うことです。
Q お母さんに聞きました。秀輔くんは普段はどんなお子さんですか?
A 明るくとにかく元気です。良く食べ、健康です。時々はしゃぎすぎてレールからはずれず。それが子供らしいと言え

「行」とされ、技術指導だけだけでなく、精神指導に重点を置かれている拳法です。人間としての本来のありかた、主体性を持ち可能性を信じる力、また自分の幸せのみならず自分の周りの人の幸せのために行動する不撓不屈の精神を養うための修行とされおり、護身術として最も適しているそうです。現在、少林寺拳法恵庭支部は、小学1年生から中学生まで25名で活動しています。

第8回 恵庭の少年団 夢中になるってかっこいい!

指導者は支部の代表でもある荒城文廣さんが最高指導として、また全般指導として小井川潤さんがいらつしやいます。荒城さんは16年間指導を務めてこられたそうです。
Q これまで指導をしてきて嬉しかったことはなんでしょうか?
A 今回のように大会で良い成績を収めた時とか、就職、進学などで恵庭支部を離れた拳士が少林寺拳法を続けており、休みの時に練習にきてくれて、立派になった姿を見た時などです。



Q 難しいと感じたことはありますか?
A 技術を教えるのも非常に難しいのですが、学科である教えの部分(※力愛不二など)を理解させるのが特に難しいです。(※力愛不二：力と愛、理知と慈悲を調和統一すること)
Q 指導で心がけていることはなんですか?
A やはり基本(突き、蹴り、体さばき、足さばき)を重視しており、少林寺拳法の技術を身につければ当然強くなりますが、強くなればなるほど人に対してやさしくできるよう指導しています。
Q 団員のいいところを教えてください。
A 少林寺拳法の教えが少しでも浸透しているのか、思いやりのある団員が多いです。
Q 拳士たちに話を聞いてみました。
A 今年のように大会で良い成績を収めた時とか、就職、進学などで恵庭支部を離れた拳士が少林寺拳法を続けており、休みの時に練習にきてくれて、立派になった姿を見た時などです。

幼稚園のころお姉ちゃんが先に始めたのを見ていて、おもしろそうだから始めました。
Q どのところがおももしろい?
A 突いたり、蹴ったりすると、奥が深いところ。
Q 辛いと思ったことは?
A 練習でうまくいかなかったりした時です。
Q どうして少林寺拳法を始めたの?
A 幼稚園のころお姉ちゃんが先に始めたのを見ていて、おもしろそうだから始めました。
Q どのところがおももしろい?
A 突いたり、蹴ったりすると、奥が深いところ。
Q 辛いと思ったことは?
A 練習でうまくいかなかったりした時です。
Q どうして少林寺拳法を始めたの?
A 幼稚園のころお姉ちゃんが先に始めたのを見ていて、おもしろそうだから始めました。



「えにわ子ども新聞」は私たちが、北海道新聞「一と36」と共に皆さまのお宅に配達しています。
「えにわ子ども新聞」を常備していますので、ご希望の方は下記販売店に気軽にお立ち寄りください。

【島松】
有限会社 内山新聞店
恵庭市島松本町1丁目12-5
☎ 0120-104-732

【恵庭西部】
(株)さとう道新販売
恵庭市美咲野2丁目3-7
☎ 0120-106-310

【恵庭東部】
有限会社 道新まっつぎし
恵庭市住吉町2丁目1-1
☎ 0120-409-464

えにわ子ども新聞を支援しています。
北海道新聞 恵庭販売店グループ



をおさめ、遊びの時間から人間鍛錬の時間へと切り替える時間があるので、拳士の一人が持つていた六尺棒を打ち鳴らす所では人間ができていない記者はビクツとおどろいてしまいました。それから柔軟↓基本練習↓各級に分かれての技

の練習↓柔法、剛法の練習に移ります。
なによりも驚いたのは、子どもたちは誰ひとりとして、おしゃべりやふざけたりする子はおらず、指導をしている先生の方を見て、真剣に話を聞いていることです。
休憩中は友達同士遊んだりもしていますが、先生が「休憩終わり」の声をかけると、すぐに練習姿勢にうつり、はじめをつけるのがとても早く、記者はとても感心しました。

◆団員募集
練習日時/木、土曜日
年少部(小学生まで) 18:30~20:00
一般部(中学生から) 20:00~21:30

練習場所
佐伯武道館(有明町)
連絡・問合せ 荒城文廣
電話 34-0693
携帯 090133895778